八郷だより

8月号

八郷町役場

人口と戸数（8月末）

世帯数		5,736
人口	男	16,169
	女	16,882
	計	33,051

石岡一高八郷分校 第二期工事 本館・図書室など三三一坪

町議会で建築方針きまる

八月十六日臨時町議会がひらかれ、①石岡一高八郷分校の建築、②小幡統合小学校の建築を二ケ年の経続事業とすることの二つの議案を議決した。

高校の建築方針

石岡一高八郷分校の才二期建築工事は、つぎのように実施することにきまつた。

○建築する建物

本館＝木造、厚型スレート葺二階建、新築一棟二四〇坪

使丁室＝木造、厚型スレート葺、平家建、新築一棟一〇坪

便所＝木造、亜鉛引平鉄板葺平家建、新築二棟、二一・二五坪

図書室＝木造、厚型スレート葺、平家建、増築一棟、四四坪

建坪合計　三三一・二五坪

○工事費＝九百万円以内で仕上げる。

○財源＝八郷町の一般財源から出す。

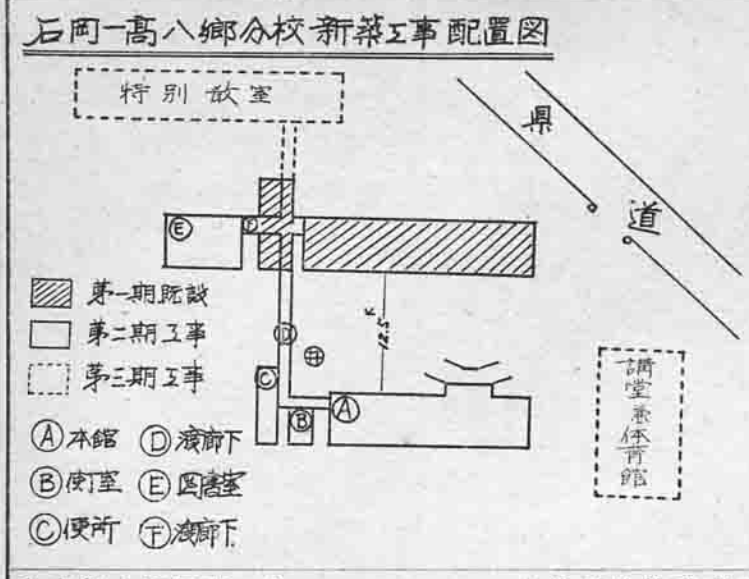
○工事の施行期間＝昭和三十二年度中に仕上げる。

○工事請負契約の方法＝随意契約とする。

○工事請負人＝才一期工事施行者の常洋建設工業株式会社（社長山田米雄）とする

常洋建設と契約

町議会で才一期工事の施行者常洋建設と随意契約の方針が決定したので、十六日正副議長・各常任委員長が議会を代表し、町長とともに常洋建設山田社長と折渉し、八七〇万円で請負契約が成立した。



二ケ年継続事業で完成

小幡統合小学校の建築

小幡統合小学校はすでに敷地の買収を終り、間もなく整地にとりかかろうとしているが、国の統合小学校建築の助成が予算のつごうで、二ケ年にまたがることになつたので町は去る八月十六日の臨時町議会で、つぎのように建築費の二ケ年継続調達計画をきめ三十二・三十三の二年度継続の方針をきめた。

○昭和三十二年度

建築量＝木造スレート瓦葺、二階建、三二三・五坪

支出額＝八九九万四千円

財源＝国庫補助金三七五万円、起債二五〇万円、一般財源二七四万四千円

○昭和三十三年度

建築量＝木造スレート瓦葺、二階建、三二九坪

支出額＝九一四万三千円

財源＝国庫補助金三七五万円、起債二五〇万円、一般財源二八九万三千円

九月は町税の納税はありません。十月に二つあります

八郷町森林組合發足

十六日設立総会を開らく

当町の森林組合は、旧町村ごとに合併前に設立のまゝ、最近までひきつづいていたがあまりに小規模で、十分の活動ができなかつたので、去る十六日設立総会を開催、全町一組合に新設合併されて、八郷町森林組合が発足した。

なお、役員は次のとおり選任された。

組合長　大槻　忠夫
副組合長　桜井　利一
〃　藤代　遠
常任理事　鈴木　包造
理事　岡野　国川井　林平
谷田部元右工門　本図桂一郎
海野　忠　富田　清
鈴木　重美　大槻宗兵衛
本多　祐則　島田　作造
関　英幸　雨貝　英一
監事　馬立林蔵　友部太左工門
鈴木英雄　原田伝左工門

小河原慶四郎
事務所＝土浦支庁林業改良技術員柿岡駐在所

写真＝入場式（上）
男子一五〇〇米の接戦（下）

今年の農村振興特別助成事業

小桜恋瀬 両農協の農事放送など十二事業、事業費一〇三五万円

昨年から農村振興特別助成地域に指定されたわが町は、昨年度において、園部農協の農事放送など二一事業を実施したが、才二年度の今年は、つぎの十二事業を実施することにきまり、すでに着手しているものもある。

❶竜の口園芸組合の果樹園経営改善施設

林地区の戸の内部落、竜の口園芸組合の大久保祥介・飯村喜一両氏の果樹園約三町歩に、薬剤撒布施設と、かんがい施設を実施して、進歩的な果樹園経営の展示をしようとするもので、かんがいの用水を谷間の出水と、深さ一〇米、直径二米の大型堀井戸にもとめる計画に特徴がある。薬剤撒布及びかんがい用のビニール管の延長約三三〇〇米、総工費一四六万円。

❷園部農協の和牛肥育共同施設

園部地区は畑地が多く、飼料資源が豊富だから、和牛の飼育も比較的多いが、上手な肥育や販売はまだ／＼というところ、こゝに着目した園部農協では、老廃牛はもちろんこの地方で生産される仔牛も育成肥育して、計画的に共同出荷を行い、将来は素牛（もとうし）の共同購入を行つて優良な肥育牛をつくり、有畜営農の改善と振興をはかろうとするもので、肉牛けい留所、牛衡器取付所、牛衡器（はかり）一基を施設する。総工費四三万六千円、施設場所は新谷、農協種畜場

❸稲子部落の共同集荷所

部落で生産する蔬菜や果樹の共同集荷販売をするために設置するもので、木造セメント瓦ぶき、平家建、二〇坪、工費四三万八千円

❹小幡梨業組合の共同集荷所

小幡梨業組合は、組合員六八名、栽培面積十八町歩をこえ、その生産額は一、〇〇〇万円に達している。この組合が共同集荷所を設置して合理的な共同集荷を実施して、有利な販売を行なおうとするもので、小幡下宿地内に木造セメント瓦葺、平家建、三〇坪一棟を建築する。工費は六五万円。現組合長潮田重夫氏

❺戸の内部落の共同集荷所

林地区戸の内部落は、前から蔬菜栽培が盛んに行われており、近頃は梨やぶどうの果樹がどん／＼新植されて、豊かな生産物をもつ部落であるが、生産物の販売はまだ共同化されていないので、部落の農産出荷組合がこの共同集荷所を設置して、共同集荷・選果・荷造り・販売を行なおうとするもの。位置は部落のほゞ中央、建物は木造セメント瓦葺、平家建、二四坪、工費四九万三千円。現区長久家泰明氏

❻小桜農協の集乳所

酪農振興のため、農協構内に完備した集乳所を設置しようとするもので、木造セメント瓦葺、六五坪の建物にコンクリート水槽をつけ、電気ポンプで揚水する。工費一七万五千円

❼小桜農協の農事放送

農協に本部施設（放送機・交換機）をおき、各部落に電線をひいて、放送と電話連絡をしようとするもの。加入者約四〇〇戸、総工費三三一万二千円、沖津有線放送株式会社に請負はせ、目下工事中。

❽恋瀬農協の農事放送

組合員加入者四〇〇戸、総工費三一〇万五千円、沖津有線放送株式会社が請負施工するなど、大体小桜農協と同一歩調で実施する。目下工事中

❾小山田農事研究会の普通畑経営改善施設

牧草と普通作物を輪作する畑地にかんがい施設をして、その生産を安定増進しようとするもので、この研究会の行う牧草のかんがい栽培による有畜農業は、八郷町でも初めてのこころみで、注目に価しよう。山麓で深井戸が堀れないので普通堀井戸から貯水槽に揚水し、スプリンクラーで撒水する計画、工費五十万円責任者は藤代和男氏

❿小山田及狢内部落のいのしし駆除施設

山麓地帯に大きな被害を与えるいのししを捕獲する施設で、小山田及狢内の部落組合が各実施する。工費は一組四万三千円

⓫湯袋の青年研修キャンプ施設

八郷町が筑波山中腹、広根場林道の高原に、三〇坪程の赤いモダンな建物を作り、三〇名位までの宿泊設備をしようとするもので目下建築中。

新治地方大会に優勝

才十一回県民体育祭新治地方大会は、八月十八日柿岡中校校庭で開会、郡下各町村選抜の代表選手五〇〇名が参加盛大におこなわれた。八郷町は総合で優勝した。

貯金川柳

貯めかけて見ればくらしに多いむだ　（華泉）

端た金女房の智恵が男にし　（楽郎）

文部省指定の実験青年学級に

小桜青年学級

全国で三つの文部省指定の実験青年学級ができた。一つは東京都の豊島区雑司ケ谷青年学級（商工地区）一つは千葉県の旭市青年学級（漁業地区）一つが茨城県の小桜青年学級（農業地区）である。

小桜青年学級は❶プロジェクト学習❷中央学級と部落学級との関連❸地域産業振興計画と青年学級との関連の三つを研究主題として、研究活動を開始することゝなつた。

自衛官募集

陸海空自衛官（三二年度才二次）

○採用人員

二等陸士約一〇、〇〇〇名
二等海士約　五〇〇名
二等空士約　一、〇〇〇名

○資格

①昭和三三年一月一日現在で一八才以上二五才未満の者

②新制中学校卒業程度の学力を有する者

○受付

九月二十日まで

なお、くわしいことは市町村役場でおたづね下さい。

〝としよりの日〟には 感謝となぐさめを

九月十五日は「としよりの日」であり、それから一週間は「としよりの福祉週間」ですが、としよりの日とは……

むかしから「としよりのつばはのりになる」ということばがありますこれは、としよりの人は長いあいだいろいろ多くの経験をへてきているため、ちょっとした意見でもその意見は、ためになるという意味のことばです。

また「こどもと老人をたいせつにしない国はけつしてさかえない」といわれています。人間としてのとおといつとめをはたして来たとしよりの人たちをたいせつにすることは当然のことです。

もちろんわが国では、仏教や孔子のおしえがさかんでしたから、としよりをうやまう美しい風習がありました。しかしさらにとしよりの人たちをたいせつにし、この日一日をとくに楽しくすごしていただこうという気持ちから「としよりの日」がもうけられたものです。

としよりの日や、としよりの福祉週間は、役場や学校や各種団体の行事にのみおわつてはなりません。めいめいがとしよりに感謝し、なぐさめる気もちをつよくし、めいめいで実行することがより大せつなことです。

八郷で一ばんの年よりは高友の小松ませさん（九六才）小幡の深沢きの乃さん（九六才）で、男では上曾の馬立五郎兵ェさん、真家の高桑丑太郎さんが共に九三才です。

うば坂林道完成

小幡地区藤本部落より筑波の中腹に通ずるうば坂林道は昭和三〇・三一の二ケ年継続事業として、八郷町が石岡市木村工務店請負で作つたもので、延長一、一九五米、はば三・六米の自動車道で、工費二一二万円（内五割は国庫補助）を要した。この林道完成によつてこの地帯の民有林約百町歩が開発される。

全國大会に出場 眞家のみたま踊り

真家の〝みたま踊〟は来る十一月二日・三日と、東京新宿日本青年館でおこなわれる第八回全国郷土芸能大会に、文化財保護委員会から出場依頼があつた。

これは昭和三十二年度無形文化財公開事業の一つとして文部省芸術祭の主催で公演されるもので、全国から茨城のみたま踊、岩手の大償神楽、愛知の盆踊、京都の嵯峨念仏鹿児島の笠踊、福岡の感応楽山形の山形民謡の七種目が出場公演の予定。

〝みたま踊〟

真家のみたま踊は、旧園部村真家部落に数百年来つたはる伝統の盆踊で、終戦後しばらく中絶していたが、昭和二十九年復活、昭和三十年八月には、千葉県成田山の関東盆踊コンクールに初出場して見事優勝、つづいて昭和三十一年八月にも同地コンクールにて連続優勝して、盆踊としては関東地方を風びしているもの。このたび関東地方よりただ一つ指名をうけたもので、郷土のほこりというべく真家部落では、保存会長の富田文五郎さんを中心に、全部落あげて準備に大わらわです。なほ、この大会に部落から老若百余名が参加するのを機会に靖国神社に〝みたま踊り〟奉納の宿願を果たしたいと望んでいるので、町長さんが神社当局と交渉中です。

子どもたちが消火

八月二十七日午前九時ごろ柿岡新地の萩原祐太郎さんの乾燥場のまわりのわら束に火がついたのを、同部落の子供たち萩原きんさんら十四、五名がバケツリレーで見事に消しとめたので、附近の評判になつている。

明るい選挙のための『話しあい』助言者決る

口を開けば「正しい、明るい選挙」という。それでいてうまくいかない。ほんとうに困つたものである。けれども困つたといつて見ているわけにはいかない。これをやらなければよい政治がないからである。正しい明るい選挙とは違反者を出さなければよいのではない。立派な政策をま心をもつて実行する人を選ぶことである。あるいはそういう人はいないというかもしれない。しかし、われわれの一票がそういう人をつくるのである。よく見、よく聞き、その上よく考えた一票がつくるのである。その一票の源は何ものにもとらわれない心であり誰にもその心はある。しかしまだまだ弱い。それを丈夫に育てるために「話しあい」が必要になつてくるのである。そこで町選挙管理委員会ではその弱い心を一歩一歩強く育てるため「話しあい」の才一線に活動される助言者の方々を左記のとおり委嘱し、この運動に挺身ねがい、明るい政治をめざす運動が理想の彼岸をめざして数歩の前進を示すことを念願している。

岩瀬源市（山崎）選挙管理委員長、松崎鉄之助（川又）全委員、竹熊豊（下林）全委員田村精（大増）教育長、飯塚隆雄（下林）園部中学校長、田上嘉雄（青田）柿岡中学校長、桜井太郎（小幡）小桜中学校長、国谷昌夫（瓦谷）恋瀬中学校長、赤羽根実（片野）

八郷町役場総務課

＝刀剣類は登録が必要です＝

家や物おきを改築したり、大そうじなどをしたとき、天井うらや物置の片すみなどから、火なわ銃や刀剣類が出てくることがあります。このような場合はすぐ〝警察〟へとどけ出て下さい。届出をうけた警察ではすぐ発見届出済証を交付するとともに、県教育委員会に〝登録希望通知書〟を送ることになつています。

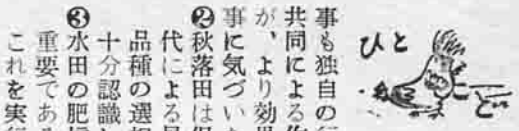
発見届出済証の交付を受けても、そのまま持つていることは許されませんので、できるだけ早く登録を受けねばなりません。県教育委員会では、毎月才三金曜日を刀剣審査日として、茨城県職員研修所でやつていますから登録手つづきのくわしいことは、もよりの警察署でおたづね下さい。

今ごろ届出をして叱られはしないか、とりあげられはしないかと、とりこし苦労もあるかと思いますがかくし持つていることは、かえつて不法所持のそしりを受ける結果となり、処罰もされますから、刀剣類を発見した場合は気軽に警察に届け出て下さい。（警察本部）

おそろしい結核と健康診断

ところは小桜地区菖蒲沢あやめ農事研究会会員小沢弘（24）君、中村実（21）君の両君のはなし。

三年続きの豊作とはいえ毎年なやむ秋落田耕作の苦労は、こうした耕地の耕作者ならでは知ることの出来ない苦労であるが、両君の努力は見事にこれを克服した。その成功の陰には、つぎのような理由があると思われる。



❶若年ながらよく先輩諸氏の意見をきき、何事も独自の行動よりも共同による作業と研究が、より効果的である事に気づいたこと。

❷秋落田は保温折衷苗代による早期栽培と品種の選択が必要な事を十分認識していたこと。

❸水田の肥培管理が如何に重要であるかを認識し、これを実行した事。

にあると思われます。若い人々の中にはやゝもすれば自由と放縦とをはきちがい事毎に自已とうすいに惰せんとするが如き世相の今日このまじめな研究会員と、飯田普及員のたゆまざる指導に対しては、私共の敬服するところです。又私どもの郷土八郷町の将来につきましても、この研究会員のように、よく聞きよく働らき、強い信念をもつて農業振興の爲に努力する人々の一人も多からんことを切望してやみません。

ついでに両君の努力の結集である水田の実態を紹介しましょう。

黄金の波と蔭の力

(一)小沢弘君の場合

菖蒲沢字西の沢、一反二畝歩、品種越南十一号、反収三石二斗～三石六斗の見込

この耕地はひどい秋落田で、例年二石以上の収穫をあげた事はない。今年の作柄は驚嘆に価する。

(二)中村実君の場合

菖蒲沢字前田、一反五畝品種銀勝、反収予想四石

（小桜・雨貝生）

私たちは何といつても健康でなければなりません。病気の中でも私どもが一ばん注意しなければならないものは〝結核〟でしょう。普通の病気はかゝれば痛んだり、苦しかつたりしますが、結核だけは自分では中々わからないものですから、知らず知らずに病気が進んでしまい、それをなおすために長い月日と、莫大な費用が必要になる場合がよくあります。

ところがこの結核も、早く発見して治療すれば早くなおります。町では、一般の人たちを対象に、三ケ年計画で全町民の健康診断を実施しています。昨年は四千人を実施、今年は八千人、残りを来年やる予定です。

今年は十月下旬より十一月にかけて、つぎの部落を実施する予定ですから、一人のこらず受診するようしたいものです。（厚生課）

昭和三十二年度検診地域

柿岡地区＝荒宿、西町、上宿仲町、新宿

小幡地区＝上青柳、下青柳、原押越、加生町

芦穂地区＝狢内、鯨岡、小倉小山田、吉生

恋瀬地区＝大塚、中戸瓦会地区＝上宿、下宿、石田山寺、両桁、部原、布野

園部地区＝鶴沼、永沼、園東塚原、柴間、宿山崎、南山崎

林地区＝根小屋、戸の内、里小桜地区＝半田、仏生寺、菖蒲沢、小野越、辻

松毛虫の驅除

あなたのたからの山に、松毛虫が発生していませんか。

松毛虫の駆除については、毎年大さわぎをしておりながら、今年も県南・県西方面に大発生して、千数百町歩の被害をうけました。せつかく植樹してすくすくと伸びだした緑の山も、発生した害虫をそのまゝ放置しておきますと、せつかくの松山も枯死してしまい、今までの努力も水泡に帰してしまいます。

早期発見

松毛虫はいま卵から若虫にかえつたころです。若虫のうちは一ケ所に集つていて駆除し易く、殺虫効果も大きく、経費も、労力も節減できます。害虫の駆除は、早期に発見して駆除することがたいせつです。今春農繁期その他の都合で駆除できなかつた方があると思いますが、この際もう一ど自分の山を見廻つて下さい今の若虫をこのまゝにしておきますと、来春大きくなつて大害を起されます。今こそ松毛虫駆除の好期です。この秋はぜひともあなたの山から害虫を駆除しましょう。

駆除の方法

被害の小面積のところは、現在やつているBHC粉剤で、大面積の被害林や、地形の悪いところは、新らしい殺虫剤の燻煙剤を利用するのがよいと思います。くわしい事は県の林業改良指導員、森林組合事務所などでおたづね下さい

（森林組合）

種の交換

県では、稲・麦・大豆などの主要農作物の種子は、優良品種の普及と、優良種子の更新を目的として、毎年計画をたてて原種を生産し、この原種を県下の採種ほ担当者に配布して、採種ほ場を生産種子審査員が審査し、農協がこれを買い入れて一般農家に販売しています。今年もまた麦まきがせまつてきて、今がちょうど種子交換の時期ですからぜひこの優良種子を利用するようおすすめします。

くわしい事は、農業改良普及員などにたづねて品種の特性をよく知つて、十分の効果を発揮するよういたしましょう。（経済課）

赤十字募金の成績

今年の赤十字募金運動は、つぎのような結果でしめきりましたから報告します。（厚生課）

表 昭和32年度赤十字募金結果表

地区名	目標額	実績額	%
	円	円	%
園部	36,851	28,370	76.9
瓦会	27,214	32,560	119.0
林	26,686	22,786	85.3
恋瀬	32,433	29,900	92.1
芦穂	33,052	33,205	100.4
柿岡	42,068	42,635	100.0
小幡	35,280	37,670	106.0
小桜	28,689	28,860	100.5
合計	262,273	255,986	98.8

米の予約申込の成績

別表のような成績でしめきりましたから報告します。（経済課）

昭和32年産米穀予約申込実績 8.15現在

支所別	要請数量	予約申込実績	%
	石	石 斗	%
柿岡	2,032	2,142.0	105
小幡	2,832	3,049.2	108
芦穂	2,645	2,757.6	104
恋瀬	2,267	2,481.2	109
瓦会	2,509	2,623.6	105
園部	2,032	2,063.2	102
林	2,592	2,759.6	106
小桜	3,039	3,270.8	108
計	19,948	21,147.2	106

名句

鯉風もそれたるらしや夕とんぼ（きゆう）

仲秋や花園のものみな高し（青邨）

あれもせで二百二十日のお百姓（蕪子）